



Contents

- 教育長からのメッセージ — 1
- 「東日本大震災にかかる教育分野での支援」について — 2
- 「地域とつなぐ防災教育」の活用について — 3
- 平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞について — 4
- セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止に向けて — 4
- コンプライアンスの推進について — 5
- 公益通報制度のお知らせ — 5
- 教職員相談事業のご案内について — 6、7
- 副教育長室より — 8
- 「第58回四国地区人権教育研究大会」のご案内 — 8

教育長からのメッセージ

新しい年度が始まって早2か月余りが経過しました。この間、先生方にはそれぞれ進級・進学した子ども達と一緒に、新しい学級・学校づくりに日夜邁進されていることに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げる次第です。

さて、昨年度末、3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害を我が国にもたらしました。発災から3か月余りが経過しても12万人もの人たちが今なお避難生活を余儀なくされている現状に暗鬱とした気持ちになります。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願わずにはいられません。

今回の大震災に際しては、日本国内だけでなく、世界各地から物心両面にわたる多くの支援が被災地に寄せられています。徳島県としても、関西広域連合の一員として、担当県である宮城県を中心として全力で支援を行っているところです。その中でも、県教育委員会としては、教育分野の支援として、被災地の児童生徒に対する緊急的な支援を目的として、3月19日から4月7日までの間は「児童生徒の心のケア」チームとして計7班、実人員で30名を派遣し、4月5日から23日までの間は「学校再開支援」チームとして計4班、実人員20名の派遣を行いました。「心のケア」チームには、自ら名乗りをあげていただいた多くの小中高校、特別支援学校の先生方に加わっていただきました。また、「学校再開支援」チームにおいても、多くの先生方にご参加をいただきました。被災地での支援は、交通・宿泊・食事等の諸条件とも、大変困難な状況であったにもかかわらず、現地では献身的に活動していただきました。遠く宮城県まで出向いていただいた多くの先生方と、ご派遣をいただいたそれぞれの学校、市町村教育委員会にこの場をお借りして心から御礼を申し上げます。

また、学校再開支援に際しては、現地の学校から寄せられた教具・文房具等のニーズに緊急的に対応するために、短時日で物資のご提供を各学校・PTAにお願いしましたところ、約2000箱にも及ぶ物資が寄せられたほか、教職員組合から多額の義援金を寄せていただいたこともあって、現地のニーズに素早く応えることができました。これらについても2回に分けて女川町と東松島市へ届けることができ、現地の教育長、校長先生、子ども達から大いに感謝されたところです。このことにつきましても皆様の全面的なご協力に心からお礼を申し上げます。

今回の徳島県による教育支援は、児童生徒・教員・学校への支援に特化した支援を行った点と、発災から1週間後の現地も混乱の最中に継続的に支援チームを派遣したという点で、全国的に突出した支援活動となりましたが、結果的に支援先の女川町や東松島市の教育委員会・学校と強い信頼関係を結ぶことができました。女川町では中学校の修学旅行先として徳島をという声も出ていますし、子ども達からも心のこもったお礼状が数多く届けられているところです。現地では学校再開を果たしたとはいえ、様々な点でまだまだ厳しい状況に変わりはありません。県教育委員会としては、これまで培った信頼関係を基に、今後とも支援・交流を続けていきたいと考えていますので、引き続き、皆様方のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



徳島県教育委員会
教育長
福家 清司

東日本大震災にかかる 教育分野での被災地支援活動について

3月11日に起こった東日本大震災に際し、徳島県では、関西広域連合の一員として、兵庫県、鳥取県と共に、宮城県を支援してきたところです。県教育委員会においては、地震発生後1週間という早い時期から、全国でも数少ない「教育分野での支援」を実施してきました。

教職員等の派遣による教育分野での被災地支援活動

県教育委員会ではこれまで、被災地のニーズを受け、教職員等を学校避難所等へ派遣し、「児童生徒の心のケア」や「特別な支援が必要な児童生徒のケア」をはじめ、早期の「学校再開」の実現に向けた支援を行ってきました。

また、「フォローアップ支援」に向けた調査のための教職員の派遣を行ったところであり、県教育委員会では、この派遣活動により得られた経験を今後の被災地支援活動に生かすとともに、本県における防災教育に役立てていきます。

<これまで被災地への派遣にご協力いただいた方々> (平成23年5月1日時点の派遣状況。敬称略。所属は派遣当時のもの。)

堀江南小学校	高橋 厚代	鳴門高校	黒田 収	特別支援教育課	名山 優	体育健康課	竹内 理恵
南小松島小学校	宮崎 絹子	盲学校	樋口 治	特別支援教育課	榊 浩一	体育健康課	乾 久美子
富岡小学校	兼任 史也	板野支援学校	宮本 宏之	特別支援教育課	森影三千世	体育健康課	京本 あい
政友小学校	平岡 千佳	国府支援学校	岡田 祐介	人権教育課	浦土井邦人	生涯学習政策課	谷川 善治
牟岐小学校	豊崎 勲	阿南支援学校	高原 真司	人権教育課	豊田 孝一	教育文化政策課	山中久美子
日和佐小学校	篠原ナオミ			体育健康課	綿貫 史郎		
海南小学校	富田 裕希	(県教育委員会事務局)		体育健康課	浜井 俊洋	徳島大学講師	
城西中学校	中山 英治	副教育長	小谷 敏弘	体育健康課	湯浅 成昭	臨床心理士	内海 千種
加茂名中学校	吉成 文敬	教育次長	高橋 博義	体育健康課	中山 淑子		
八万中学校	林 義勝	教育総務課	藤本 恭弘				
国府中学校	吉田 哲也	教育総務課	湊 洋平				
鳴門市第一中学校	遠藤 直人	施設整備課	伊藤 正				
小松島中学校	森 直樹	教育改革課	佐々木 満				
阿波中学校	石原久美子	教職員課	白井 俊				
井川中学校	西尾あかり	教職員課	尾崎 好秋				
日和佐中学校	古本 貢	教職員課	勢井 研				
穴喰中学校	瀧川 恵子	教職員課	吉田 有礼				
北島中学校	宮田かつ子	福利厚生課	大塚 晴之				
板野中学校	松田 徳恵	学校政策課	青山 敏雄				
徳島商業高校	鈴鹿 剛	学校政策課	大西 浩正				
富岡西高校	宮本 哲也	学校政策課	鎌田 秀幸				
阿南工業高校	福井 健持	特別支援教育課	梶本 一夫				

派遣にあたっては、この他にも多くの方にご協力いただきました。

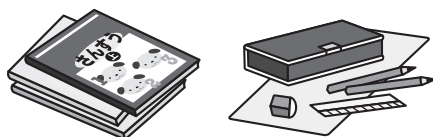


【派遣教職員の壮行式】

就学支援物資の提供による支援

公立幼稚園、小中学校、高校、特別支援学校、県内教育委員会、各単位PTAのご協力により、1,190箱もの就学支援物資が集まり、女川町及び東松島市へ贈呈しました。

また、県内4教職員団体からの支援金により購入した辞典類を女川町へ贈呈しました。



【被災地へ送られる就学支援物資】

このような支援の中、女川町では4月12日に、東松島市では、4月21日に新学期がスタートしたところであり、支援にあたった学校や児童生徒等から、お礼文が届いています。

■お礼文はこちらのホームページからご覧いただけます。

(URL : <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011061300204>)

被災地支援にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



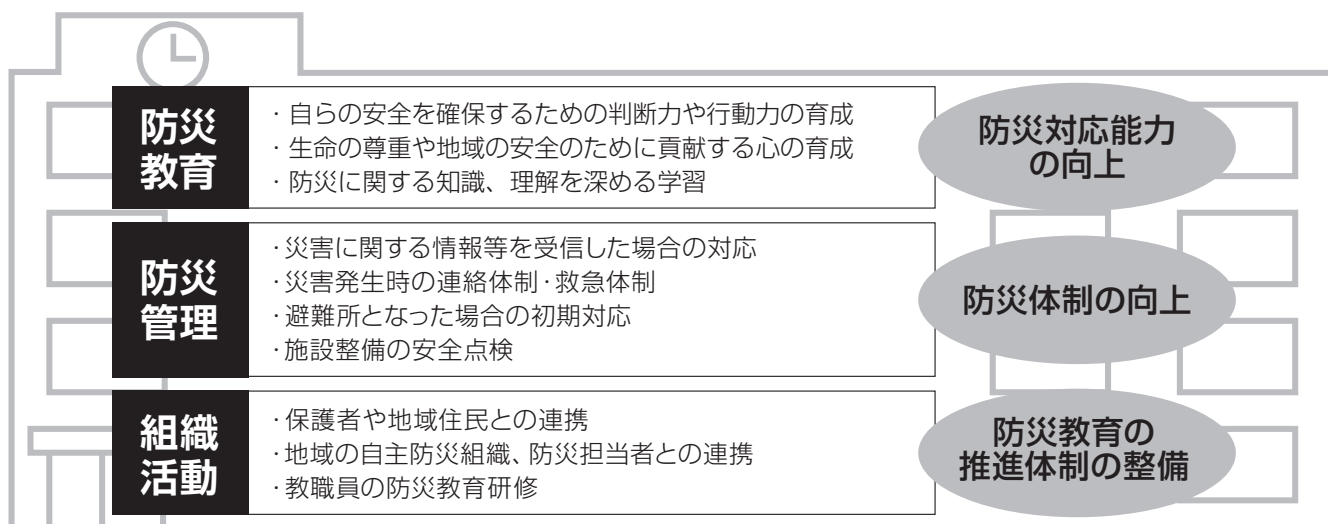
地域とつなぐ防災教育 ～ 防災教育の充実へ ～

県教育委員会では、この度、学校における防災教育をさらに推進するため、防災教育推進モデル校24校の実践の中から、地域と連携した取組をとりあげ、県内全体の学校で実践可能な内容を編集した冊子「地域とつなぐ防災教育」を作成し、全公立小・中・高・特別支援学校の全学級に配布いたしました。



目 的	内 容
・ 学校、地域の実態や発達段階に応じた防災教育の取組の展開 ・ 地域と連携した防災教育の推進 ・ 地域との連携による、地域の安全安心のネットワークの輪の拡大	・ 防災の基本的な考え方や発達段階に応じた防災教育、地域と連携した防災教育の考え方と進め方 ・ 地域と連携した防災教育のプログラム例（地域との合同避難訓練、マイ・ハザードマップの作成、防災ゲーム etc.）

学校防災とは…



「南海地震」は、今後30年以内に60%程度の確率で発生すると予想されており、また、この度の、東日本大震災発生時における、学校の対応状況等からもわかるよう、学校における防災教育の重要性は増しています。

地域と連携した取組が、児童生徒のみならず、地域全体の防災力の向上につながると考えられることから、各学校において、本冊子を活用いただき、地域と連携した防災教育に取り組んでくださるようお願いいたします。

長期優良住宅〈OMソーラー・徳島杉〉展示場公開中！ 広告



太陽の力で年中快適！エコ生活。

木造ドミノ徳島展示場は、OMソーラー・長期優良住宅・徳島杉の家が組み合わさったエコの家。

見学はもちろん、実際に宿泊して体感もOK！

真剣に家づくりをお考えの方は、ぜひご体験ください。



いつでもご見学、宿泊体験可！ 来場時お電話ください



心と心で満足とよきをつくる
(株)セイコーハウジング

徳島市北矢三町3丁目1-79
Tel.088-631-8236
<http://www.seikohousing.co.jp/>

平成23年度科学技術分野 文部科学大臣表彰受賞 徳島県立城ノ内中学校

昨今、経済や社会のグローバル化等、社会全体が大きく変化している中で、我が国が今後も持続的に発展していくためには、国民全体が科学技術に関心と理解を深めるとともに、次世代を担う青少年が、科学技術に夢と希望をもち、科学技術の役割やその重要性について、より一層理解を深めていく必要があります。

そのような中、児童生徒の創意工夫の育成に顕著な成果をあげた学校として、徳島県立城ノ内中学校「技術部」が科学技術分野文部科学大臣表彰を受賞しました。

※本賞は、H19～H21の過去3年間の取組成果が評価されたものです。

〔概要〕

城ノ内中学校の「技術部」(顧問 鶴本正道 教諭)は、平成19年度に「科学部技術班」として発足し、平成21年度から「技術部」として正式に活動を始めています。数々のコンテストにおいて、顕著な成績を収めています。また、エネルギー・環境教育にも積極的に取り組んでいます。



【受賞校の皆さん おめでとうございます】

〔取組実践：一部紹介〕

○全国中学生 創造ものづくり教育フェア

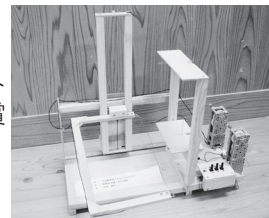
「創造アイデアロボットコンテスト」
全国中学生大会応用部門
プレゼン賞



※機構が優秀であると評価されたロボット

○ものづくり日本！ 技術教育創造の世界

「エネルギー利用」技術作品コンテスト
全日本中学校技術・家庭科研究会会長賞



※3次元の切断が可能な
発泡スチロールカッター

○エネルギー・環境教育 風力発電のエネルギーを利用した、いちごの促成栽培(ビニールハウス実験棟の設計・製作)



※骨組みの製作



※生育の様子と自動水まきパイプ



※温度・湿度のデータは15分ごとに
無線で送られ記録し、グラフ化

セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止に向けて＜相談窓口のご案内＞

徳島県教育委員会では、セクシュアルハラスメント及びパワーハラスメントの防止に向けて、次のとおり相談窓口を設置しています。

窓口で相談に応じる相談員12名のうち、9名が女性です。

相談員は、相談される方の氏名や相談内容に関してプライバシーを厳守しますので、セクシュアルハラスメント等の被害を受けたと感じたときは、被害を深刻にしないためにも、まずは電話やメールにより相談してください。

〔相談窓口・相談員配置先〕

◆市町村立学校の教職員 市町村教育委員会にお問い合わせください。

◆県教育委員会事務局、教育機関及び県立学校の教職員

教育総務課 TEL 088-621-3208

教職員課 TEL 088-621-3122

福利厚生課 TEL 088-621-3178

学校政策課 TEL 088-621-3197

体育健康課 TEL 088-621-3165

〔メールによる相談窓口〕

電話等により直接相談することが困難な場合は、次のメールアドレスにより、セクシュアルハラスメント等の相談、苦情及び通報を受け付けていますので、活用してください。

◆メールアドレス：sekuharasoudan@mt.tokushima-ec.ed.jp

ひとりで悩まず、
まず相談を！



コンプライアンスの推進について

◆平成23年度の推進目標

- (1) コンプライアンス研修等を効果的に実施し、自らの問題として定着するよう継続的な取組を行います。
- (2) 総合教育センターの年次研修等を活用し、研修や啓発活動を計画的に実施します。
- (3) 教職員間のコミュニケーションの活性化を図るため、風通しの良い職場環境づくりに取り組みます。
- (4) 公益通報制度の円滑な運用により、問題の早期発見と早期対応に努めます。

◆行事計画

(1) 「教育長と語ろう ～教職員と本音でトーク～」を開催します。

教育委員会教育長が、教育委員会事務局・教育機関や県立学校の若手・中堅教職員と率直な意見を交換し、本音で語り合う機会を持つことにより、風通しの良い職場環境づくりに資することを目的とします。

○テーマ 「地域や保護者から信頼され、働きやすい職場（学校）となるために」

○実施予定 教育委員会事務局（7月）、県西部の県立学校（8月中旬）

県北部の県立高校（8月下旬）、教育機関（10月）

(2) コンプライアンス推進週間を実施します。

- ・コンプライアンス推進標語の募集など

(3) 外部講師による研修会を実施します。

(4) 総合教育センターにおける基本研修・職務研修等での研修を実施します。

(5) 教育課程研究集会において啓発活動を実施します。



◆各所属での取組を充実させるために

(1) 平成21年度に配布した「コンプライアンスハンドブック」、平成22年度に配布した「コンプライアンスハンドブック ケース集」を有効に活用してください。

ハンドブックは <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010083000130/>

ケース集は <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010083000116/> にアップロードされています。

(2) コンプライアンス推進週間において、研修や啓発活動を重点的に実施してください。

【推進週間】「夏のコンプライアンス推進週間」 7月1日(金)から 7月7日(木)

「冬のコンプライアンス推進週間」 12月1日(木)から12月7日(水)

◆公益通報制度のお知らせ

コンプライアンス推進室では、公益通報制度を担当しています。この通報制度は、教職員の不正行為等を早期に発見し、速やかに是正に繋げ、法令遵守等を推進するためのものです。

教育委員会事務局、教育機関及び県立学校の教職員について通報される方は、当コンプライアンス推進室まで、封書又はメールによりご連絡ください。

『通報者の秘密を含め個人情報保護されます。』

○通報窓口：徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

○通報先：封書 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

「徳島県教育委員会コンプライアンス推進室(公益通報)」宛 ※「親展」と記載してください。

メール compliancesuishinshitsu@mt.tokushima-ec.ed.jp

あるいは、「徳島県教育委員会ホームページ」→「教職員の不正行為等通報窓口」からでも入力できます。（[外部相談員]の通報窓口も設けています）

なお、市町村立小・中・高等学校の教職員の通報については、該当市町村教育委員会までご連絡ください。

お体の「痛み」で悩んでいませんか？

広告

—— なかなかとれない痛みなどは“正確な知識”と“良質な手技”で取り除きましょう ——

幾度となる
寝ちがいがなど...



骨折 捻挫 打撲 キリ腰 脱臼 挫傷 寝ちがい

じっくりカウンセリング、しっかり施術、ご相談・診察予約受付中!



労災指定・各種保険取扱

お気軽にご相談ください!!

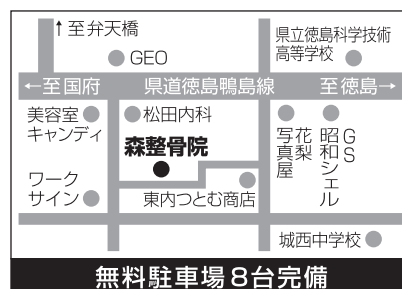
森整骨院

徳島市南矢三町3丁目2番39-7
TEL・FAX 088-632-7004

診療
時間

【平日】AM9:00～PM1:00・PM3:00～PM7:00

【土曜日】AM9:00～PM1:00 休診日/日曜・祝日



無料駐車場 8台完備



教職員相談事業のご案内 (メンタルヘルス・カウンセリング)



この事業は、皆様の「心の健康管理」を支援する事業です。

利用 方法

電話または窓口で、「教職員相談事業」での利用であることをお伝えください。

平成23年度より無料相談は年度内5回までとなりました。なお、弁護士業務に係る場合、投薬治療および継続の心理療法を受ける場合は、費用が必要になります。(念のため、医療機関で相談される場合は、共済組合員証を御持参ください。) 相談方法、時間制限は必ず守ってください。治療ルートにのるまでを「相談」とします。プライバシーは絶対に守ります。所属に知られることはありません。

◆弁護士◆

相談員名	相談場所	相談日時等		相談方法	申込方法
松尾 泰三	ひまわり法律事務所 徳島市中徳島町2丁目9番地1 こばんやビル2F 電話 088-655-0007	月～金	9時～18時	面接 電話・文書	事前予約必要

◆精神科医師◆

相談員名	相談場所	相談日時等		相談方法	申込方法
元木 啓二	新町診療所 徳島市中徳島町2丁目100 電話 088-625-7556	月火木金	9時30分～18時30分 (13時から14時除く)	面接	事前予約必要
		土	9時30分～13時		
石元 康仁	徳島県精神保健福祉センター 徳島市新蔵町3-80 電話 088-625-0610	第2・4 水曜日	13時～17時	面接	事前予約必要
白石 公	四国中央病院 四国中央市川之江町2233 電話 0896-58-3515	月～金	9時～17時	面接	事前予約必要 健康管理係まで
土井 章良	川村医院 名西郡石井町浦庄上浦154-4 電話 088-674-0120	月火水金土	9時～13時 15時～18時	面接・電話	事前予約必要
鬼原 治良	あいざと山川クリニック 吉野川市山川町前川200-2 電話 0883-42-8811	月金土 (第1・3・5)	9時30分～12時30分 (受付は9時～12時)	面接	事前予約必要
福川 久継	ますみクリニック 徳島市大原町東千代ガ丸2-9 電話 088-663-2202	月火水金土	9時～12時 14時～18時	面接	事前予約必要
		木	9時～12時		
宮内和瑞子	宮内クリニック 徳島市名東町2丁目659 電話 088-633-5535	月水金	9時30分～17時	面接	随時受付順
		土	9時30分～12時 (受付は8時30分～)		
枝川 浩二	枝川クリニック 徳島市大和町2丁目3-51 電話 088-653-1131	月火木金	9時～13時 14時30分～18時	面接・電話	事前予約可能
		土	9時～13時		
後藤 宏樹	けんなんメンタルクリニック 阿南市日開野町筒路15-1 阿南開発ビル5F 電話 0884-23-6522	月火水金土	9時30分～12時30分 14時～18時	面接・電話	事前予約可能

◆臨床心理士・カウンセラー◆

※継続して心理療法を受ける場合は自己負担となります。

相談員職氏名	相談場所	相談日時等		相談方法	申込方法
臨床心理士 川瀬公美子	メンタルサポートオフィス ーひといきー 徳島市東新町2-20-204 電話 088-652-2292	電話予約で相談のうえ決定します。 予約時、すぐに対応できないときは留守番電話で対応受付します。		面接・電話	事前予約必要
産業カウンセラー 川上 晃代	Mental Health & Human Support With You 徳島市蔵本町2-30-1/パティオ蔵本3F 電話・FAX 088-633-5689	月火	18時～21時	面接	事前予約必要
		土日	13時～19時		

メールアドレスwith-you-2008@sings.jpの件名に「教職員相談事業」と入力し予約可。

※国民の祝日・休日・年末年始は除きます。

対象者は？

公立学校、県教育委員会事務局、県立教育機関に勤務する県費負担教職員本人(臨時を含む)です。休職中の教職員も利用できます。

サービスの 取扱い？

勤務時間内の面談は、**年休**により相談を受けて下さい。



災害支援者のこころのケアについて ～災害等によって傷ついたこころのケア～



東日本大震災被災地での支援活動に当たられた職員の皆様、大変お疲れ様でした。

被災者のケアにあたる支援者は、被災者と同様のストレスを受けると言われています。災害という外傷的体験の話を聞きすることで、支援者も精神的打撃を受け、こころだけでなく身体の調子にも影響することがあります。

また、派遣直後ではなく、しばらく時間が経ってから、心身の不調が現れることもあります。多くの場合は、自然に回復していきますが、回復までに長い時間がかかることがあります。

次のような症状が1ヶ月以上継続する場合には、心的外傷後ストレス障害（PTSD）が疑われます。まずは、休養をとり心身を休ませましょう。

そして、ためらわず医療機関等の専門家に相談しましょう。

管理監督者は、被災地支援に当たった職員の健康管理への配慮をお願いします。

注意が必要な 症状

災害現場の光景が突然目に浮かぶ、眠れない、悪夢をよく見る、些細なことでイライラする、お酒やタバコの量が増える、涙もろくなる、集中力がなくなる、疲れが抜けない、ふさぎ込む、緊張が抜けず不安を感じるなど…

その1

「ちょっと一休み」

頑張りすぎないで、定期的に休みをとしましょう。

その2

「気持ちを言葉にしてみましょう」

自分の気持ちやストレスに感じていることを素直に認めましょう。

……回復のために……
できること

その3

「回復の早さは人それぞれです」

回復までに長い時間がかかることがあります。せかさないで見守ってあげましょう。

その4

「専門家に相談してみましょう」

身近な人にさえ打ち明けられない気持ちでも、専門家ならじっくり聞いてくれるはずです。ためらわず相談してみましょう。

※「兵庫県こころのケアセンター」こころのケア より引用

※教職員相談事業、公立学校共済組合のメンタルヘルス相談事業などもご活用下さい。

疲れた眼を癒して、ココロも体もリフレッシュ!! 広告

眼精疲労でお困りではありませんか？

- ・長時間パソコンを使用している
- ・一日中コンタクトレンズを装着
- ・老眼鏡を使用している ・読書をよくする
- ・暗い部屋でテレビや携帯画面を見ている

温湿布・冷湿布などを取り入れた眼精疲労治療をおこなっています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	／	○	○

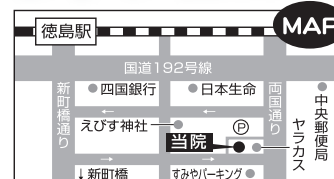
※土曜日の午後は13:30～17:30です。

※午後～予約可

休診日 木曜午後・日曜・祝祭日

入院設備有、急患随時受付

- ▶白内障・緑内障 ▶角膜移植術 ▶網膜復位術
- ▶眼精疲労の健康相談 ▶検診などもおこなっております



徳島市中通町2(えびす神社近く)



医療法人 山田眼科醫院

☎088-652-4843(代)
http://www.eye-yamada.com

副教育長室より



副教育長 原内 司

5月1日の定期人事異動により副教育長に就任しました原内司です。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度は、国難とも言われる東日本大震災への支援と地震津波への対応が、最も大きな課題となっています。教育委員会においては、発災後1週間という早い段階から、継続して教職員を宮城県に派遣し、第1ステージとして「心のケア」、第2ステージとして「学校再開」の支援を実施した結果、支援先の女川町では4月12日、東松島市では4月21日という早い段階で学校が再開されました。支援に関わった関係者皆様の被災地に寄せる熱い思いのたまものと敬意を表する次第です。

現在、被災地における緊急の支援は一段落しておりますが、被災した児童生徒の心の痛みが消えたわけではなく、今後は息の長い支援が求められていることから、被災地の児童生徒の思いに添った支援を行っていくことが必要と考えているところです。

また、このたびの大震災を踏まえ、本県における地震津波対策について、危機管理部局と連携を図りながら、まずは「児童生徒の命を守るんだ」という強い思いで、学校施設の耐震化、学校防災管理マニュアルの改訂、防災教育の充実等、しっかりと取り組んでいかなければならないと考えておりますので、どうか皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、毎年春になると、

年年歳歳 花相似たり

歳歳年年 人同じからず

という漢詩の一節を思い出します。

人間は日々成長していますが、普段はなかなか気が付きません。しかし、春には、入学、進級、卒業、就職、異動、退職などわかりやすい形で実感することとなります。私がこの句を高校時代に教わった時、師は「生徒は一年一年が勝負だから、それに応えていかなければ。」と言っておられました。従って、この句はまた、師の教育に対する熱き思いを思い出させる句でもあります。

今春、教育行政に関わることとなり、この句への思いを新たにしているところです。



イベント紹介

第58回四国地区人権教育研究大会のご案内

「四国はひとつ」の合い言葉のもと、同和問題をはじめさまざまな人権問題の解決と、すべての人の人権が尊重される社会の実現をめざして、多くの仲間が徳島に集まります。

日頃の実践を交流することとおして、互いの成果に学び合い、人権教育・啓発をさらに豊かに発展させていくことができるよう、多くの方々の参加と協力をお願いします。

第58回四国地区人権教育研究大会

【研究主題】

すべての人の人権確立に向け、差別の現実から深く学ぶ実践をととして、人権文化の構築をめざす教育をどのように創造していくか。

【主催】

四国地区人権教育研究協議会 徳島県教育委員会
徳島県人権教育研究協議会 徳島県大学人権教育研究協議会

【期日】

平成23年6月30日(木)・7月1日(金)

【日程・会場】

●**全体会** 6月30日(木) 10:00～12:00
アスティとくしま

●**分科会** 6月30日(木) 13:30～17:00
7月1日(金) 9:20～12:00



分科会	会 場
1 人権確立をめざす教育の創造	A 徳島市中央公民館 D アスティとくしま B アスティとくしま E 徳島県立総合福祉センター C あわぎんホール
2 自主活動	とくぎんトモニプラザ
3 進路保障	A 徳島県教育会館 B あわぎんホール
4 人権確立をめざす地域の教育力	A 徳島市役所 C 徳島県教育会館 B あわぎんホール
5 大学教育	ふれあい健康館
6 特別部会	徳島市立文化センター

【問い合わせ先】

徳島県教育委員会人権教育課 TEL 088-621-3157

広告

土地・中古住宅
5億円
まで買います!!

売ります
買います

無料査定
も実施中

あなたの予測を上回る!



モーニングホーム

一級建築士事務所

代表取締役 流 勝美

■本社・展示場/徳島市国府町戸字高輪地41-1

(社) 徳島県宅建物取引業協会会員・四国地区不動産公正取引協議会加盟・徳島県知事免許番号(3) 第2551号・徳島県知事許可(般-20) 第7515号・*広告有効期限 H23.8月末

モーニングホーム 検索

宅地分譲
販売代理
注文住宅
リフォーム
建売住宅
中古住宅



☎(088)637-2111

お気軽にご相談下さい がんばれ日本!!